

KK通信

発行人 吉田 稔
編集人 箕田 京二
発行所 大阪府堺市
区内菅原通四ノ三〇
曙 書房

○ 本誌十一月号待遠しく本屋を訪れる事数回。手に入るや欣喜雀躍、約一日半部屋に閉籠り再読三読すべてを忘れて読み耽る。「続変態艶書」「悲恋の管刑」等の魅力に耽溺の病におかされた様な形相となる。次の日より如何なる場合にも持ち歩るき身体に在る処何時も難さず。斯くて読破終了後も次号発行まで鞆の奥深く難居する。KK通信第一号鶴首の折郵送受けるや通読精読、玲子女史の「責めと私」の至れりつくせり親切丁寧挿入されての説明は心憎いまで強引な魅せられ方全くの恍惚感に浸り全身をゆさぶる。そして次号続くで先ず安心。秘本紹介「泣きさげ青春」終となつてあつたけなし金沢下田守氏の愛読者クラブの案はまことに面白いと思う。池田市森岡氏の三女史を囲む座談会の案に続いて席上玲子女史を縛らせて戴けるなら……に至つては陶酔境の極致と云う処。本誌もKK通信も月一回の発行では期間が長いように思われるが編集部意向は如何。せめてKK通信だけでも月二回或は三回ほしいものと思う。小生は常に「変態」「倒錯」等と表現される語が甚だ興味を欠く感じがあると思う。読者の皆様で之に代る快適な語を考案してほしいと考える。同好の士の健斗を祈る。(石川・加佐和)

○ 今から思えば小学校卒業後、今の趣味が所謂「泥棒ごっこ」などの遊びで無邪

気ないたづらから始まつていました。それらの遊びで、たゞ追い廻すだけでなく捕えて見様見真似で縄で縛らなければ面白くなく、家族の留守に友人と室内で裸になつて相撲をとり負けたら後手に縛られるという賭けで争つたものでしたが、間もなく始まつた戦争の空白後、二三のY本に刺激されて昔のこれらの行為を再び思い出して深夜ひそかに、十一月号の青柳氏の通信や、体験記の獄氏の如くに縄を我が身体に巻いて自ら慰めるだけでしたが、フトこの実験中に自縄自縛の宙吊りを考案しわずかにこれで我慢している有様です。何にせよ縄による責めは気心の知れた相手が必要ならば真の緊縛はありえず、不満の時に奇巧の存在を知つたわけです。いふなれば「責め」でなくて「責められ」ファンで、それもなるべく男性の方が何かにつけ良いと望んでいます。緊縛の美については奇巧の述べられる通りで満腔の賛意を表します。

(横浜市・金木生)

○ 第二号に掲載されていました金沢下田氏提案の愛読者クラブの件につきましては双手を挙げて賛成致します。其の具体案として責任の所在を編集部ではなく一般愛読者に置き、編集部は単なる連絡機関に致しますればお互に都合がよいと思ひますから其の様なかたちで実現に協力をお願い致します。私は本誌並びにKK通信が如何なる世代になつても愛読者の力に依つて永続的に守り育て、行きたいと願つてゐるものです。私は此処数年写真のコレクションを致しましたし、種々斯の途の本も蒐めて居ります。最近入手した「人面鬼」上中下三巻なども同好の諸氏に広く読んで貰いたいと思ひますが、之等もKK通信により毎号連載的に掲載出来るならば……と思つています。

第三号行田和子氏の地獄繪は興味津々思わず身体が熱くなるのを覚えました、次号が楽しみで……之が為に紙数が増頁になり一つの号が五十円にでも百円になつてもかまいません出来れば挿繪なども入れてほしいです。「東京杉田謙二氏」の凸版が不可能でしたら似た繪でも載せてほしいと思ひます。空想は空想なりに又現実とは離れた面白さがあるものと思ひます。(大阪・大山登)

○ 貴誌十一月号を漸くにして書店で発見

遠い以前から探し求めていたものに会えた思ひで早速購入して帰りました。「夢性の美少年」「男色魔の魔」の二作はさき程から二回程繰返し読みました三村氏の告白は又そのまゝ私の告白でもあります。今夜も夜の街に私の愛の対象となる少年を求めてさまよい出ることでしよう、でも折角行きつりにこの青年こそと思う人に会えても近づくにつけが出来ないのです。公務員としての職にありながら自分の此の秘密は誰にも口外出来ず三十三才になる現在まで獨身でいる事自体奇異にとられて悩んでいます。

十七、八才か二十四、五才迄の好みの青年に会うと欲情をそゝられるのですソドミイの経験はありません。たゞ同衾

して力の限り抱きしめ、キッス、フェラチオ、オナニーを行います、つまらぬ事を書きましたか何故か今夜は貴誌を得て人生が明るくなった様な思ひなので考えつくまゝ筆をとりました。

(神奈川・小畑正)

○ 手足をくくりあげられた女と共にあることに依つてのみ、生への酷刑が可能であり、薄い唇の上からきつちり巻きつけた猿ぐつわが頬に喰ひ込んでゐる女の顔を両掌で挟み込み頬をすり寄せ柔い絹地の猿ぐつわの上からきつちり女の唇を吸いながら、かすかに洩れる息をボクがぼくの頬に感じる時、疑いようのない確かな或る美的実的に肉迫するこのぼくが、逆に身動き出来ないほど奇譚クラブに縛り上げられ、俘囚となつて唯眩暈する他能がないということにフト気が付くのである。ぼく自身の悩みと歡びを一層深くしぼく自身の秘密の深部の向うに立入る奇譚クラブの魅力はその包含する奇の多様性ではない、どの一頁にも溢れる人間の巨大な根源衝動の赤裸々な主調低音である。毒を啖ひ奈落を繰りながら、壓倒的な愛の極限を登りつめ、回避するを許されない人間の具体世界に据つて奏でる奇譚クラブの妖しい旋律はぼくの胸を抉るのだ。

一七四〇年、人生の舞台に登場して坊主臭いひげ割れた因襲に対して最も果敢な抵抗を展開しながら新しい奈落を手に入れようとした新しい地平線を奪還したマルキ・ドゥ・サドが恐るべきその生命さえしぼり上げるように終えた彼の悲劇的生涯を通じての痛烈な銃弾であり抵抗の旗印であつた異端的風貌を、一九五二年

の今日、恐らく日本で唯一の驚くべき異端的風土の中で躍動する奇譚クラブに見出さずには居られない。あゝ我が凄しき、奈落の風土よ!! (名古屋・伊東)

○

KK会員の皆様、お元気で何よりと存じます、画帖に對しましていろいろと御鞭撻御教示を戴きまして有難うございました。時代物を描いたらどうかとおつしやる御方が多い様に思つたのでございますが、とても晴雨先生の足元にも當れませんし困つております。でも一生懸命に勉強するつもりでございますから今後共よろしく。東京の杉田謙二様、貴男様のおかきになりました繪拝見致しました、大変よく感じが出ていますと存じます。鉛筆ではなくコンテかブラックインクを御使用になりますと凸版の出来もよく上るのではないかと思ひますが、大阪の青柳様繪及写真拝見しました。一度モデルになつて戴けませんか。(喜多玲子)

○

鈴木美代子さんへ

本誌十月号二八頁読者からの便りの貴女の記事を読み非常にエキサイトされました。御金持の愛人のかくれた好みで門外不出とことわつて居られますが、せめて貴女のモデルとなられた分を一枚でも御譲り願ふ訳には参らぬものでしょうか、又御譲り願ふ事が絶望ならば見せて戴くチャンスを与えて戴けませんか。小生は本誌の愛読者で、住所、氏名、勤務先等は編集部に明示してあります。

(大阪・AM生)

○ 本欄に對する御投稿を歓迎いたします皆様方のKK通信です、御遠慮は無用ですドシドシお寄せ下さい。(係)



地獄絵 (2) 行田和子

「お、お母さまーあー」
泣きさけぶ喬子の口からは間断なく水がつぎ込まれ、その上重造の手が遠慮のない悪戯をはじめたのです。

可哀相な喬子の両足は八文字に開き、重造のふしだらなその指は……その上、源と呼ばれた乾分までが加わって椅子の後から毛むくじやらの油だらけの手を廻して来るのでした。

私の胸は火の様に燃え、屈辱と怒りと絶望の為に全身がわななきました。喬子や私にとつてはそれは死にも勝る苦痛でした、この淫らな責め苦に耐える辛さは爪を剥がされ指を一本々々切られる苦痛より数倍の辛さなのです。

私は身体を柱に縛られたまゝ娘のまだえる有様を見ていなければなりません、いえ、見まいとして必死に眼を閉じているのでした。耳を覆えない悲しさは、ヒット。と喬子が悲鳴を上げる度に思わず眼を開いてしまうのです。そしてハツとして瞬時のうちに眼を閉じるのですが一瞬間のあいだに網膜に映った喬子の身をよじる裸形は喉を閉じたからと云つて消え去りはいないのです……。

それは長い……時間のようには思いましたが本当は三十分位だったのかも判りません。さんぐなさんぐで責められたものが重造を始め男達は部屋の際の椅子に

引きあげて、ガヤ／＼笑いながら淫らな聞くに耐えない卑猥な言葉を、私と喬子にあびせかけ、こちらを見ながら煙草を喫い始めました。

私はそつと眼を開いて喬子を見ました。喬子は拷問椅子に腰かけた姿のまゝ、グツタリとなつて居ります。若しや死んでしまつたのでは？……怖い予感が背筋を氷のように走りましたがよく見るとあの円い統のように光った乳房がセイセイと苦し気に息を吐いて、全身の筋肉が時々ビクビクと反射的に動くのでした。

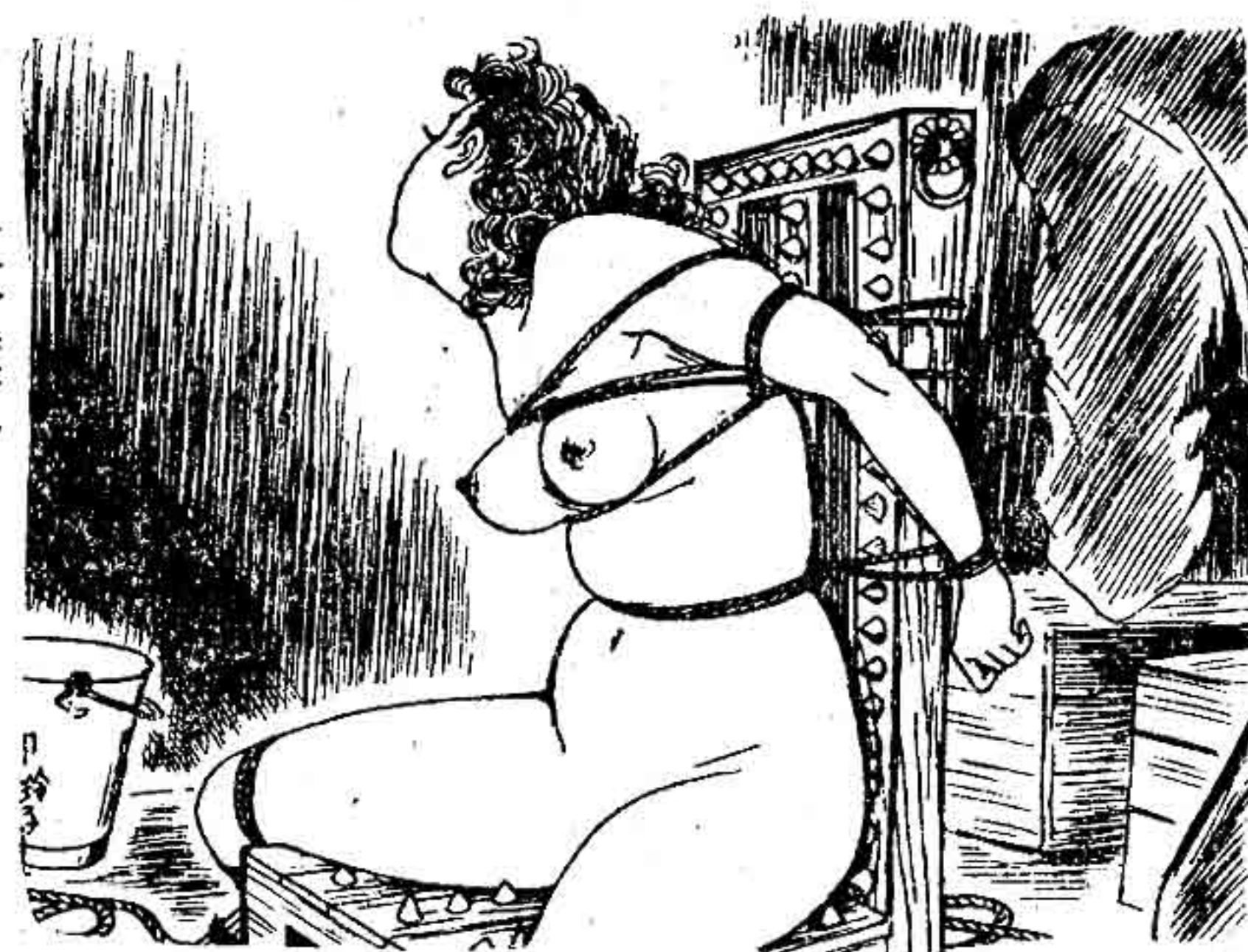
水を無理矢理に飲まされた為か、なだらかな腹部の曲線は常とは違つて異常にプツクリと盛り上り、全身は雨に打たれたように濡れていました。

そのうちに喬子は眼を開き私の姿を見とめると、また我にかへつて身をくねらせ何とかして此の羞しい細目から身を逃れようともがき始めました。

「お母さまッ、助けてッ、助けてえッ」
喬子の救いを求める声は私の胸にキリのように突きささるのです。最愛の娘のこんな姿を眼前に見ながら、どうすることも出来ない私の身には娘の助けを求める言葉すらが、私を責めるのでした。

おそろく私は火の様な眼をしていたかも知れませんが、血走つたそんな眼で、恨みをこめて重造をにらみつけることすら

いが私に許された抵抗なのでした。
だが悪魔たちの行為はまだく終つてはいなかつたのです。喬子は尿意をもよおして来たのです、いやと云うほど水を飲まされ、つめたい地下室で裸体にされて居るのですから無理ありません。最初のうちは、腰をもじ／＼と動かし、足の指先に力を入れなどしてこらえくつていたのでしようけれど、私の眼にもその排泄の苦痛をこらえる様子が判る時分には、喬子にはもうこれ以上辛抱が出来ない程の限界に達していたのです。



悪魔の乾分達が煙草を喫み終り、喬子の気配を知つて椅子の廻りをとり巻きました。喬子は恥しさも忘れて現在の敵に向つて蚊の鳴くような声で哀願しました
「……お、お願い。御不浄に行かせて……あ……」

そう云う間にも身体は小刻みにふるえ顔は蒼白になつて必死にこらえているにじらしさ。こんな羽目になつても男達の眼前では若い娘としてのプライドが許さなかつたのでしよう。

「え、なんでえ、なんでえ。足の裏がか

ゆいのかい、え？」
知つていながら、わざととぼけた男の一人が喬子の足の裏を操るのです。
「あーッ、アア……ッ」

あゝ、それは何と云う意地の悪い責め苦なのでしよう。腿を合わせることも出来ないで必死に排泄をこらえている可哀相な喬子の恥しい苦痛の姿を築しようと云うのです。喬子は縛られた裸体を引きしめて懸命になつて男達の眼前に羞恥の姿をさらすまいと生理的な苦痛と戦いました。しかしそれも時間の問題でしかありませんでした。

限界一杯に達した生理現象は男達の好奇の眼の前に進みました。重造を始め、彼等はそれぞれの違つたいやらしい言葉を一せいに喬子にあびせかけ喬子は消え入るほどの恥しさにさしうつむき泣いていました。

それから一時間程の間、嬲りものにされた後、喬子は何処かに連れて行かれ、私はそれまでに何度も気を失い最後に意識を取りもどした時は、先刻とは違つた畳を敷いた部屋に転がされていました。
「お母さまッ。お母さま、しつかりしてちようだいッ」

どうしてこんなと心配していた君子の声なのです。私はハツとして眼を開き疲れ切つたからだを越しました。いえ起こそうとしたのですが両腕は縛られたまゝでどうすることも出来ないのです。

君子も後手に縛られていて、私の傍ににじり寄つて来るのでした、悪魔の手に君子も捕えられていたのです……。

其の時、部屋の際がスルスルと開いて重造がニヤニヤ笑いながら……以下次号

短 信 往 来



▲行田和子さんの地獄絵は編集部でも大評判!! 次回の息する様な面白さには仕事も手につかぬ有様で今回からカットではなく玲子女史の挿絵も入る様になつたのでM君など自分の事の様に喜んでゐるとは、さてもさても。

▲玲子女史と云えば、時代物の素晴らしい作品に取りかゝつていられるとの事でます。読者の為に喜ばしいことである▲奇くほど一貫性を持った雑誌が東京に生れず、雑誌が育たないと云う大阪に敢然と旗をあげているのは賞讃に値する、とは斯道の大家伊藤晴雨氏の言。これも読者御支援のためものにはかならず。

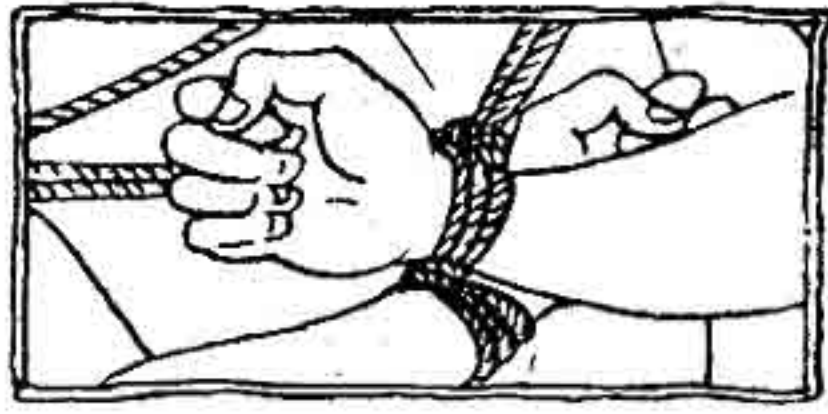
▲静岡の二俣志津子さんがこのほど来阪編集部に行くのは何だか怖いワとおつしやる、訳を聞くといきなり縛られそうだから、とのこと。いいえ、とんでもないこちらがいつも虐められておりやすヨ。

▲或る読者が編集子をつかまえて聞いた「女の作家や投稿が目立つけれど、ペンネームだけじゃないのかい？」編集子曰く「どう致しまして、何なら一度全部の御婦人を集めてパーティーでも聞きましょうか」まではよかつたが、「とにかくうちの編集部は男前が揃つてゐるからなこつちまで、いらんことに苦勞するワ」とひとりごと。モデルのも辛いかなど云う話。

筆者よりの便り

松井頼子さんより

昨日東京から帰つてお葉書拝見いたしました。東京へ行く前に稿料を拝受し、その御礼を東京へ行つて認めるつもりでいた所、一週間経つ間に何んだか、がた／＼して落付くひまもなく失礼してしまいました。それでも、もうそろ／＼御誌の締切だしと氣になつて、頭の中だけでは仕事を居りました。十一日には



泥沼の蓮

兵庫県KO生

第三号KK通信の「ベルギー現代美術展」を見て、書かれた東京の黒井氏よ

私はかねがね「責め」をより美しく表現出来る画家を夢にまで探して居りました。アブの泥沼に咲いたハスの花を求めたのです。貴方の描写は見事で眼前に繪そのものがホフツとして参ります是非、繪葉書を発表又は御譲り下さいませんか。関西ではその展覧会が開かれずでしようか。(編集部の方、御調査下さい)アブに耽溺しないで(それは破滅への途です、変態性慾は必ず進行するものですから)一般社会に公示せらるゝ範圍の——例えば映画、繪画——アブ趣味について大いに語ろうではありませんか。本誌が極端なアブニスト独占せられる前に、私の考えに同感の士はドシ／＼投書して下さい。

は速達でお送り出来ると思います。それまでお待ち下さいませ、先ずは取急ぎ。

一俣志津子さんより

前略、しばらく京都で遊んできました京都寮は一泊八十円よ、どう？これ以上安いところあります。法華俱樂部は六百円でしたわ、家へ帰りましたら十二月号が来ていました。私の古い原稿も出ていましたのでびつくりしたりうれしかったりでした。アリガトウ。今日は九日です。ウカ／＼と遊びすぎましたか。お元

さて繪画では、シニール作家古沢美

氏が毎日グラフの二十五年五月十日号で「今年の美を探る」のテーマで猪熊弦一郎氏などと並べて紹介され、責めの繪画縛られた女の芸術を発表されています、伊藤晴雨氏のものも好対照でしょう。それについて本誌喜多珍子氏の亡き御主人の作品を発表してほしいと思うお方はありませんか？是非見たいものですね。

映画演劇では相当「責め」がありタネはつきません、尤も映画の方が公共性が広いので、演劇には露骨でありませんが大映の「振袖狂女」では宮城野さんが高小手に縛り吊されて、もがく、指の美しさはたとえようがなかつたのです。彼女はその為、三日間首が腫れ上つて寝込んだそうです。

例の「肉体的門」は映画では生ぬるい描写でした。「獄門島」も宣伝スチールのみで、映画では大したことなく一般に映画で女の責めは少いようです。

その代り女形出身の長谷川一夫は、いつも縛られた女の演技を(男姿でも)やっています。「蛇姫様」「阿波の踊子」「大江戸の鬼」「続修羅城秘聞」と色々

気でしょうか、お忙しいでしょうね、一寸お便りほしいみたい。では又。

藤安節子さんより

お葉書拝見、あたし只今のお仕事は身体ばかり疲れて、とても御求めのようなものが書けないのが悲しいですわ、ガリ版の原紙切りでもして、その間に小説の勉強をしようと思ひますのですけど、どうでしょうか。あたし月五千元ばかりあれば生活してゆけるのですが、若しお心当りでもありましたら、お知らせ下さいますようお願い致します。

縛られています、中でも阿波の踊子は縛られた男性でなく、女性的な演技で、男から蹴散がされ、その胸倉を掴んで引きよせられた時、私は女の表現を感じました。(戦後再上映された時、チャンとその部分は盗まれていました。大阪歌舞伎座地下劇場)「続修羅城」は週刊朝日でQ氏が一寸注目していますが、あの場合、轟さんも縛つて彼女が縛られたまま這い寄つて接吻し泣きながら彼の瞳目に歯を入れて喰ひ切るようにした方がすつと良かったらうと思ひます。

週刊と云えば、宝塚の「猿飛佐助」で新珠美千代が縛られたまゝアパツシユダンス(アパツシユは女を虐めるスタイルのダンスと云う)をやるのをほめていました、どなたか御覧になつた方は感想を書いて下さいませんか。

歌舞伎の「明烏」「中將姫」「白子屋お熊」「雪姫」などを近代スタイルで、又は今のストリップの邦舞の如く、カツラ、腰巻だけで演じて本誌上、又は分譲写真で発表して下さいなよいのですが、もし実現するようでしたら拙い筆ですが、筋書を書かせて頂きたいと思ひます。

原稿募集

○読者の告白文
体験談性歴
を募る○

「奇く」をお読みになられる方々なれば、変つた経験の一つや二つはおありだと存じますが、文章の巧拙等

は問いませんから御遠慮なくドシ／＼お寄せ下さい。会員諸氏の分は優先的に掲載の上、薄謝を呈します。

◎縛られた女を描く 写真集

本誌新年号の口繪に発表しました写真集の御希望の向きには御申込次第増しの上御送付申し上げます。
キャビネ版、四枚一組三百円(送料共)五組計二千枚あります。

代理部だより

縛られた女の写真・分譲

光沢面 焼付五枚一組(二集分)二百円 印刷紙 (送料共)

○第五篇(四十一集より五十集迄) 十集

○第六篇(五十一集より六十集迄) 十集

○以上各集共一集分各々五枚一組です

集を重ねることに充実発展して参りました本誌独特の縛られた女の写真は、愛好者の間に好評を博しまして、優秀なコレクションとしての役目を果して参りましたが、其後引続き猿轡や道具を用いたもの、鎖にて縛つたもの等を発表、その特異な緊迫美の雰囲気は見る者をして恍惚境に誘い込んで居ります。

今回は更に読者待望の各種の吊り下げられた姿態の撮影を敢行し、壓倒的な人氣を得て参りました。まだ御覧になつて

居られない方や一部お求めの方は、分譲打ち切りにならない中にお早くお注文下さる様お待ち致します。

吊し責の三態

特選焼付写真 三枚一組
キャビネ版 五百円

此れは今迄一度も発表した事のない、とつて置きの各種吊し責め姿態中、最も敵興味あるものを選びました。御申込次第最重荷造の上急送致します。二組あり

★襲われる女★

(シリーズ十二態)
十二枚一組五百円(送料共)

此れは暴漢に襲われる美少女の恐怖の姿態を鎖と鎖をアクセサリに用いた得難い作品です。

本誌直接購読会員募集

奇譚クラブを毎月確実に書店販売前に入手される為には直接購読会員におなり下さるゝ御便利です。KK通信を無料贈呈の他景品贈呈の特典があります。(KK通信のみの送附を望まれる方は半ヶ年分実費百円で直送致します)

○三月分(三冊) 三百円
○半年分(六冊) 六百円
○一年分(十二冊) 千二百円

品半年分費められる女の写真三枚一組 八枚一組

発行以来六周年を迎えた本誌は如何なる事態に立つても絶対に休刊は致しません。敢然として逆コースの時流と戦う本誌を御支援あるんことをお願い致します。

責め絵につかれた男の

秘 密 日 記

(思春期時代)

画と文 青柳謙次

×月×日 晴

今日は待ちに待った富士十一月号の発売日だ。一刻も早く、三上於菟吉の原作「敵討極楽手形」の続きを読みたい、そして志村立美の素晴らしい責め挿絵も早く見たい。残酷な責めにあえぐ百姓久助の運命は、お小夜は!! 期待に胸を躍らせて書店の店先で新しい富士を手に取りパラ／＼と頁をくつたのに敵討のかの字も発見出来ないでガッカリ。作者三上於菟吉氏病気の為に当分の間休掲かチェツ／＼つまらない、作者の馬鹿ッ人の気持ちも知らないで病気になるなんて、フン、何んだこんな雑誌、これからこんな本誰が読んでやるものか。腹立ちまぎれにその雑誌を他の本の上に投げ出してやつたら、店員の奴

×月×日 晴後曇

今日は日曜日父や兄姉は外出、夕方までは帰らない、それに母までが買物に出て僕一人が留守番である。絶好のチャンスとばかり早速板の間に愛好の責め繪と新を四五本台所より持つて来て並べた

そしてその前に姉の鏡台をすえ、素早く衣服を脱いで一糸を纏わぬ素裸となり用意してあつた麻縄で左手首を縛り上げ背後に廻して自由の利く右手で裸体を目茶苦茶にしめ上げ、天野屋利兵衛のよう、板の間に並べた新の上に正座した座つただけでも全身の重みで両足に激しい苦痛を感じる、鏡に写るその浅ましい姿を眺めて全身を駆けめぐるアブノーマルな血潮が逆流し、物凄い程興奮。次第にエレクトして来た。夢中で身体を強く揺すり、右手で……を繰り返す。

「ウーム」思わず知らず迸りし出る呻き声、快よい快感! 最高頂の痺れるような感覚が……。その瞬間!! 表戸がガラ／＼、シマツタ、直ちに薪を右手で掻き



集めて抱きかゝると便所内に夢中で駆け込む。

桑原々々、もう少しで母に此の恥しい行為を見付けられるところだつた。

×月×日 曇後雨

M君に借りた本を久し振りで返しにいった。何か外の雑誌を貸してくれないかと云つたら、兄貴の本だがと云つて奥から五六冊持つて来て呉れた。早速頁をくつて見てその内の一冊に吸い付けられた僕、グイ／＼と強烈に引きつける水責、火責めの「鍋冠日親」に興奮したが友の手前なにげない素振り少し読んで見るとまらない!! 物凄い程残酷な責め物



語りだ「此の本を見せて貰うよ」コチコチになつた一部を無理にズボンのポケットに手を入れて押さえつけながら、あたふたと友の家を出た。ポツリ／＼と雨が降つて来る中を家に飛んで帰り寝転んで兄や姉に覗かれぬ程度に開いてその本を読む。それはく物凄いまでに残酷な拷問地獄の物語りで読む程に興奮が高まり、もう我慢が出来なくなつた。思わずその本を片手に夢中で便所に入つた。そして竹の串を突き刺されたキリ／＼とひねり廻されて無惨にも苦しみなが日親を想像し、その続きを読みながら……。もう此の本は絶体に戻さない!! 誰が何んと云つても返すものか!! (未完)

編集部だより

(一) 本誌十一月号並に新年号に発表しました通り従来行つて居りました私信の転送郵旋を中止致しましたが、此の事について特に自分の分だけ転送してほしいとの熱心な御申出が多数あり弱つて居ります。此れは実際上種々な支障を生じました為一応中止致しましたもので、当分は誌上の交換を以つて充当してゆきますが研究検討の上適当な方法を考えたいと思つて居ります。

(二) 本誌編集部及びKK通信係に対するお便りに対しては誌上を以てお答えするのを原則と致しますが、その内容によつては直接信書で御答へ致します。但しその可否は編集部に御一任下さい。

(三) KK通信第三号の短信往来に発表しました通り、愛読者某氏の御好意により縛られた男性ヌード写真の撮影を敢行しましたが、その焼増し写真はまた一枚も作成していない中から分譲してくれとの申込が若干あり、尚、縛られるモデルになりたいという男性側の御申出も殺到次回に着衣の貴婦人の御出陣を願つて痴人の愛のナオミばりの写真をとつてはどうかと案が有力で、係員も頭をひねつております。

(四) 新聞紙上に何か取締り云々の記事がのつたとかで、心配のあまり本誌も休刊や廃刊しないだろうかという御問合せ多数に接しましたが、そんな事は絶対にありませんから御安心下さい。本誌はこれから油がのつて益々充実してゆこうと思つて居る矢先ですから。但し一部小売書店に於て敬遠するかも知れませんが出来れば直接購読者となつて頂きたいのです。直接購読の愛読者が増えれば、本誌の基礎がそれだけ強固になるのですから。送本は完全に包装の上、書店発売の以前に直送(第二種郵便にて)します。尚読者の住所氏名の秘密厳守及び予約金の保証については責任を以つて御迷惑のかゝらぬよう致します。

です。直接購読の愛読者が増えれば、本誌の基礎がそれだけ強固になるのですから。送本は完全に包装の上、書店発売の以前に直送(第二種郵便にて)します。尚読者の住所氏名の秘密厳守及び予約金の保証については責任を以つて御迷惑のかゝらぬよう致します。

(五) 編集部では読者の御批評御意見は如実に誌上に具現してゆきたいと編集員一同努力致して居りますので、本誌の編集あり方についての御意見は、ドシ／＼とお寄せ下さい。拝見の上十分その主旨を体して今後の編集に当たりたいと思ひます。

(六) 喜多玲子画帳は好評で、第二集の刊行するよう督促の便りに接して居ります。限定版締切り以来、一部熱心な愛好者の要望により若干増刷した分がいさゝか在庫して居りますので、お求め洩れの方は送共三百六十円にて代理部へ御申込下さい。

奇譚クラブのバックナンバーは左記の通り若干在庫して居りますから御入用の方は御申込下さい。一部送共九十円にてお送りいたします。

三月号	変態集附特集号
六月号	戦争と性欲特集号
七月号	女天下時代特集号
八月号	責めと男色特大号
九月号	倒錯の告白特集号
十月号	切支丹迫害史特集号
十一月号	宗教刑罰戦慄面譜特集号
十二月号	惑溺の愉悅特集号

◎新年号より定価を値上げしましたが、従来御予約下さいました月極読者の方々へは前金切まで従前の価格据置のまゝにて御送本申し上げます。